

復活節第7主日(昇天後主日)特祷

み子イエス・キリストに永遠の勝利を与え、天のみ国に昇らせられた栄光の王なる神よ、どうかわたしたちをみなしごとせず、聖霊を降して強めてください。そして救い主キリストが先立っていかれたところに昇らせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

旧約聖書 出エジプト記 28章1節－5節、9節－10節、29節－30節

28:1 あなたは、イスラエルの人々の中から、兄アロンとその子ら、すなわち、ナダブ、アビフ、エルアザル、イタマルをあなたのそばに連れて来て、祭司として私に仕えさせなさい。2 兄アロンのために、栄光と美しさを表す祭服を作りなさい。3 あなたは、私が知恵の霊で満たした、心に知恵のあるすべての者に告げて、アロンの祭服を作らせなさい。それは、アロンを聖別し、祭司として私に仕えさせるためのものである。4 彼らが作る服は、胸当て、エフォド、長衣、格子縞の短衣、ターバン、飾り帯である。彼らはあなたの兄アロンとその子らのために、祭司として私に仕えるための祭服を作る。5 彼らは、金や青、また、紫や深紅の糸、上質の亜麻のより糸を用いる。

9 また二個のカーネリアンを取って、それらにイスラエルの子らの名を彫りつけなさい。10 その名のうち、六つの部族の名を第一の石に、残り六つの部族の名を第二の石に、生まれた順で彫りつけなさい。

29 このようにして、アロンは聖所に入るとき、裁きの胸当てにあるイスラエルの子らの名をその胸に帯び、常に主の前で記念とする。30 裁きの胸当てにウリムとトンミムを入れ、アロンが主の前に出るとき、その胸の上にあるようにする。こうしてアロンは、イスラエルの人々の裁きを、主の前で常に胸の上に置いていることになる。

詩 編 第47編

- 1 すべての民よ、手を打ち鳴せ // 神に喜びの叫びを上げよ
- 2 いと高き神、主は畏るべき方 // 世界を治める偉大な王

- 3 神は諸国をわたしたちにゆだね // 諸国の民をわたしたちの足の下に置かれた
- 4 神はわたしたちのために譲りの地を選ばれ // 愛するヤコブの誉れの地を与えられた
- 5 神は喜びの叫びのうちに // 主は角笛の響きとともに上られた
- 6 ほめ歌え、神を。ほめたたえて歌え // ほめ歌え、わたしたちの王を。ほめたたえて歌え
- 7 神は全地の王 // ほめたたえて歌え
- 8 神は諸国を治め // 神は尊い座に着かれる
- 9 アブラハムの神の民とともに諸国の王は集まった // 地の君たちは神のもの、神はすべての人にあがめられる

使徒書 使徒言行録 第1章15節～26節

1:15 その頃、百二十人ほどのきょうだいたちが集まっていたが、ペトロはその中に立って言った。16 「きょうだいたち、イエスを捕らえた者たちの手引きをしたユダについては、聖霊がダビデの口を通して預言しています。この聖書の言葉は、実現しなければならなかったのです。17 ユダは私たちの仲間の一人であり、同じ務めを割り当てられていました。18 ところで、この男は不正を働いて得た報酬で土地を手に入れたのですが、そこに真っ逆様に落ちて、体が真っ二つに裂け、はらわたがみな出てしまいました。19 このことはエルサレムに住むすべての人に知れ渡り、その土地は彼らの言葉で『アケルダマ』、つまり、『血の土地』と呼ばれるようになりました。20 詩編にはこう書いてあります。『彼の住まいは荒れ果て、そこに住む者はいなくなりますように。』また、『その職は、他人が取り上げるがよい。』21-22 ですから、主イエスが私たちと共に生活されていた間、つまり、ヨハネの洗礼(バプテスマ)のときから始まって、私たちを離れて天に上げられた日まで、いつも一緒にいた者のうちの誰か一人が、私たちに加わって、主の復活の証人になるべきです。」23 そこで人々は、バルサバと呼ばれ、ユストとも言うヨセフと、マティアの二人を立てて、24 次のように祈った。「すべての人の心をご存じである主よ、この二人のうち、どちらを選ばれたかをお示してください。25 ユダが自分の行くべき所に行くために離れてしまった、この務めと使徒職を継がせるためです。」26 二人のことでくじを引くと、マティアに当たったので、この人が十一人の使徒たちに加えられた。

福音書 ヨハネによる福音書 第17章11節～19節

17:11 私は、もはや世にはいません。彼らは世におりますが、私は御もとに参ります。聖なる父よ、私に与えてくださった御名によって彼らを守ってください。私たちのように、彼らも一つとなるためです。12 私は彼らと一緒にいる間、あなたが与えてくださった御名によって彼らを守りました。私が保護したので、滅びの子のほかは、誰も滅びませんでした。聖書が実現するためです。13 しかし今、私は御もとに参ります。世にいる間に、これらのことを語るのは、私の喜びが彼らの内に満ち溢れるようになるためです。14 私は彼らに御言葉を伝えましたが、世は彼らを憎みました。私が世から出た者でないように、彼らも世から出た者ではないからです。15 私がお願いするのは、彼らを世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。16 私が世から出た者でないように、彼らも世から出た者ではありません。17 真理によって、彼らを聖なる者としてください。あなたの言葉は真理です。18 私を世にお遣わしになったように、私も彼らを世に遣わしました。19 彼らのために、私は自らを聖なる者とします。彼らも、真理によって聖なる者とされるためです。